

兵庫県 加西市役所 様

セキュリティパッチ適用の自動化で、効率化を実現。 ネットワークPC管理におけるセキュリティ強化の基礎を構築。

担当5名が1週間フル稼働で行っていたパッチ適用作業を担当1人で実行可能に。

緑ゆたかな加西市

加西市は兵庫県の南部、播磨平野のほぼ中央に位置し、姫路市や加古川市に隣接しています。気候は瀬戸内式に属し、平均気温は16℃前後と温暖で暮らしやすいところです。市の西側は播磨内陸地域最大の平坦地で、数多くのため池が点在し、市の北側にはスギ、ヒノキなどが茂る山林が広がり、緑豊かな自然環境にかこまれています。

セキュリティパッチ自動配布と適用

加西市では市政の効率化、市民サービスの充実のため、従来より業務の電子化に取り組んできました。PCの一人一台体制と庁内LAN・WANによるネットワーク化も実現してきました。ところが、2003年8月のBlasterワームの騒動により、このPCネットワークが、ぜい弱なものであるという認識を新たにすることになりました。Windowsのセキュリティホールを狙ったウイルスからPCネットワークを守るためには、Microsoft社が公開するセキュリティパッチをクライアントPCに速やかに適用することが緊急かつ、重要な課題となりました。加西市企画総務部情報推進室 深田正範氏は当時を振り返り次のように語ります。

「Blasterワームのためのセキュリティパッチについては、各クライアントPCを情報推進室員が業務終了後にアップデートしてまわりましたが、5人で約1週間の作業でした。」

この作業を通じて、今後も継続して提供されるセキュリティパッチの人手によるアップデートは困難であるという判断をするに至りました。そこでセキュリティパッチを含めたソフト自動インストールツールの導入検討を開始しました。

導入しやすく低価格の 「AssetView HYPER」

平成15年9月頃からソフトウェア自動配布・セキュリティパッチ自動適用機能を持つ製品の情報収集をし、「AssetView HYPER」を含む3製品の比較検討を行いました。高度な機能よりは安価で簡単なものというのが前提条件でした。官公庁は人事異動による担当入替が多く、コンピュータ知識の少ない職員でも運用ができるということが重要なポイントになるわけです。また、セキュリティパッチの自動適用に業務を絞ってしまっていたから、価格も大きな要素でした。各社のデモ

ご担当者様



兵庫県加西市
企画総務部
情報推進室
深田 正範 氏

弊社担当営業



株式会社ハンモック
ネットワークソリューション事業部
営業部 営業2課
深澤 紀彦

導入先企業データ



兵庫県 加西市役所

所在地：兵庫県加西市北条町横尾 1000番地
職員数：790名（2004年4月現在）
加西市人口：51,042名（2004年12月現在）
URL：<http://www.city.kasai.hyogo.jp>

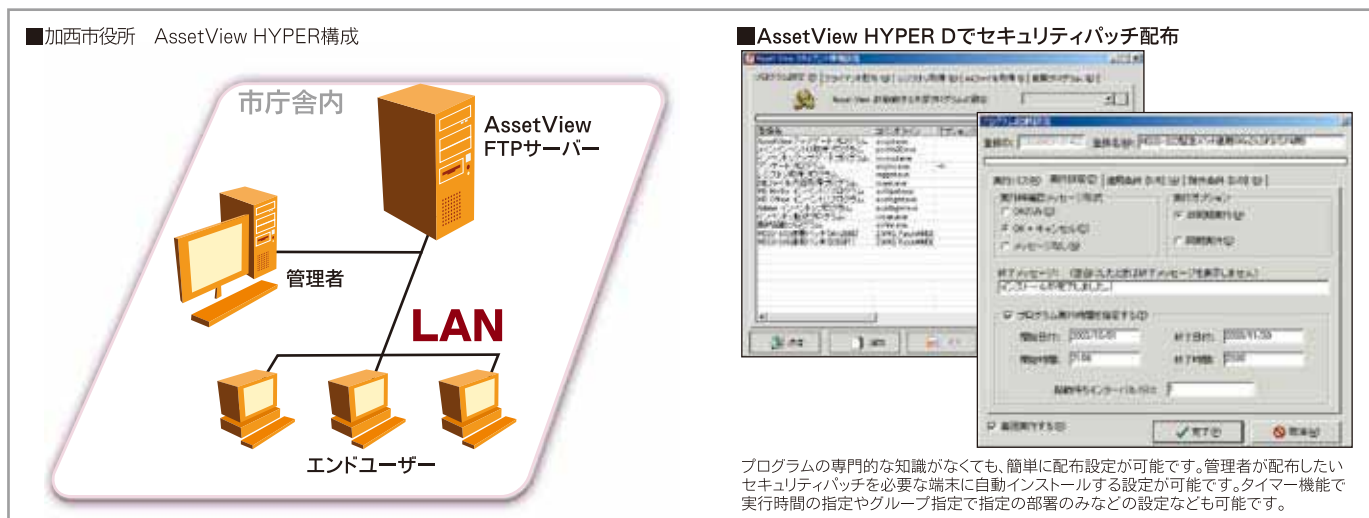
花と歴史と愛のまち かさい

加西市は、昭和42年の市政施行以降、市政運営のための長期総合計画として「加西市総合計画」を策定し、花と緑を活かし、田園地帯の中で文化・交流を生み出す総合的なまちづくりを目指し、進めてきたところです。

今後、加西という「ふるさと」の中で、市民の思い、夢が実現できるという21世紀初頭の都市像—活力とゆとりに満ちた「ふるさと夢都市」—を目指すため、各分野にわたる取り組みにより、計画の基本目標である「花と歴史と愛のまち かさい」の創造を目指すこととしています。



※使用画面は画面表示例です。



プログラムの専門的な知識がなくても、簡単に配布設定が可能です。管理者が配布したいセキュリティパッチが必要な端末に自動インストールする設定が可能です。タイマー機能で実行時間の指定やグループ指定で指定の部署のみなどの設定なども可能です。

を見たうえで、「AssetView HYPHER」に決定しました。まさに「AssetView HYPHER」のキャッチフレーズである簡単導入、簡単運用そして低価格という諸点が評価されたのです。

「AssetView HYPHER」の展開

平成16年3月にサーバを導入し、その後テストを行い徐々に導入をすすめていきました。システム構成としてはサーバ1台、管理者端末一台、クライアントPC328台という規模で運用を開始しました。担当者の多くはPCの専門家ではなくネットワーク構築の経験もありませんでした。また、庁内のPCもWindows95、98、NT、ME、2000、XPと家庭用OSから業務用まですべてのWindows OSが網羅されており、かつ、ハードウェアスペックも多様であったため、いくつかの問題が発生しました。例えばスペックの低いPCにおいて起動時に従来より時間がかかったり、LANに接続されていないときに(Windows)のexplorerがフリーズしたりといったことで、セキュリティ強化の必要性への理解が低い職員からは苦情が寄せられたりしました。しかしながら設備等の環境面におけるセキュリティ強化も、職員のセキュリティ意識の向上も、避けては通れない問題であり、今回の「AssetView HYPHER」の導入が、これらの解決に向かう一つのきっかけにはなったと考えています。

導入効果と思わぬ副産物

導入効果は何とんでも担当者一人ですべてにセキュリティパッチが当てられることです。いままで、室員が一台一台まわってあてていたことを考えれば、時間と経費の大きな削減につながっています。1回のセキュリティパッチ適用のために5人の担当者が1週間残業するわけで、今後もセキュリティパッチが次々にでてくることを想定すると、多くの時間とコストがかかるはずですが、AssetView HYPHERはその労力を削減できるわけですから、将来にわたり大きな効果を生みだすものと期待されます。

また、当初はあまり期待していなかった、PC資産情報も手作業による集計と比べ、正確かつ迅速に集計できるようになりました。PC毎のアプリケーション情報やハードウェアのスペックなど、従来取得することが難しかった情報も簡単に管理可能となりました。

「現在、OSをXPへ移行する計画ですが、AssetView HYPHERのソフト・ハード情報取得機能を使えば、計画から更新実施まで効率よく作業ができるはず」と深田氏は期待しています。

高まるツールへの期待

加西市では今後とも庁内ネットワークの一層のセキュリティ強化を図っていく予定です。特に個人情報保護法の制定にともないPCの利用制限の必要性はますます強くなっています。例え

ば、データの書き出しと外部持出しを防ぐために各PCのI/Oデバイス(CD/DVD/MO等)の使用制限をかけるなどの措置を一元的に実施・管理することが望まれています。

セキュリティパッチの適用を始め、ツールによる一元管理を進めていく上で、段階的に拡張できるAssetView HYPHERの機能拡張に大いに期待しています。